

平成18年度第7回（10月）理事会議事録

- ◇ 日 時：平成18年10月12日（木）午後6時41分～8時51分
- ◇ 会 場：社団法人大阪府臨床検査技師会事務所
- ◇ 出席者：森嶋、今井、運天、吉本、高田、田畑、宮野、井戸田、荒木、出野
山田、北中、東野、事務（岩崎）
- ◇ 欠席者：竹浦、大垣、清水、高橋、酒井、神農、村上
- ◇ 議 長：森嶋

【 討議内容 】

I. 行動報告（10月分）

別紙参照

II. 経過報告

1. 日臨技

- ・ 情報調査部は、「医療安全対策ガイドライン」、「マネジメントシステム入門編」を作成、今後の各研修会、勉強会等にテキストとして使用する予定。
- ・ 組織制度部は、法人化見直し問題について検討予定。
- ・ 認定制度関連は、一般検査について特例試験が行われ、合否判定を10月14日実施。
その他の認定制度については、遺伝子・染色体検査でまずは遺伝子染色体学会と当会で具体的な検討に入ることとし、人類遺伝子学会については後日検討する。なお、日本臨床検査同学院が構築予定の遺伝子分析科学認定士への委員派遣は行なわない。
- ・ その他、特別委員会（学会の在り方、ICT戦略、近未来事業、医療経営戦略等）については、随時開催進捗中。
- ・ 日臨技ホームページのトップページおよび内容を見直す検討をしている。
- ・ 日臨技学会の在り方検討委員会の進捗状況報告
 - ◇ 開催地：大都市開催予定
 - 開催日：土日開催予定
 - 企 画：多くの臨床検査技師が参加できる学会
臨床検査業界をリードできる学会
研修会や各職域の臨床検査技師が発表できる場として、オープン化推進
や一般演題の分類の見直し等を検討している。
 - 運 用：準備期間を短縮して合理化で要るように検討している。
 - テーマ事例：◇ チーム医療 ◇ 経営参画 ◇ アウトソーシング ◇ 医療制度
 - ◇ 患者サービス（チーム医療以外） ◇ 品質管理 ◇ 教育（人材育成）
 - ◇ 医療制度 ◇ 業務拡大 ◇ 職域拡大 ◇ 経営参画 ◇ アウトソーシング
 - ◇ 患者サービス（チーム医療以外） ◇ 品質管理 ◇ 教育（人材育成）

- 平成 18 年度 総合管理部門研修会
 - 生涯教育研修 一般教育研修過程：基礎専門教科 B 20 点
 - 専門教育研修課程：管理運営課程 50 単位
 - 精度管理仮定 46 単位
- テーマ： だれでも出来るチーム医療実践研修会
 〈チーム医療参画のノウハウを一緒に学びませんか？〉
 会 期：平成 19 年 2 月 11 日、12 日

大臨技決定

- JCCLS 標準採決法ガイドライン（10 月下旬に発売）
 - フォルダーの問題（使い捨てにする）
 - 手袋の着用（原則アルコール消毒をする）
 - アームダウンの問題（変更）等

2. 近臨技

第 47 回近畿医学検査学会の配布用チラシ自粛した。

3. 事務局

<総務部>部会開催（9 月 12 日）

- 「平成 18 年度大臨技会員名簿」の最終校正。
- 災害時の事業中止決定時間について討議。
- 第 47 回近畿学会の進捗状況についての報告。
- 祝賀会について検討。

<広報部>

- 大臨技ニュース 9 月号を発行。
- ホームページ更新。

4. 渉外部 部会開催（9 月 19 日）

- 11 月 11 日開催の手話講演会内容を検討中。
- 大放技合同フォーラム演者の最終確認と大阪府、大阪市の後援の準備を検討。

5. 情報組織部 部会開催（9 月 21 日）

- 8 月 19 日（土）新入会員研修会の反省会をする。（来年も開催したい）
- 11 月 18 日（土）技師長会について検討する。

6. 地区事業部 部会開催（9 月 21 日）

- 10 月 7 日 会員交流会について。（56 名参加、内容が充実）
- 9 月 10 日健康展について反省。

7. 学術部 部会開催（9 月 22 日）

- 近畿学会に関して シンポジストは近畿の方をお願いした。
- 福井学会より座長採用の報告をした。
- 生涯教育研修セミナー 2006 の報告を行った（18 名、30 部会超え、内容的に一般的で

面白かった)。

- ・平成19年度事業計画の提出をお願いした。(10%削減)
- ・12月2日の学会シンポジウム打ち合わせ会は、関西医大附属病院にて行なう。
- ・一般検査部会より新規事業の申請があり、会計上も問題ないので承認した。
- ・来年2月大臨技フォーラムの企画について案を出すようお願いした。

III. 認定一般検査技師啓発事業について

“認定一般検査技師試験”会報 JAMT に近日中掲載。

本試験を考えている会員に、平成18年11月28日に大臨技事務所会議室にて説明会開催(生涯教育を取っている会員で、認定を受ける人対象)

IV. その他

- ・常務理事会が11月より第4水曜日に変更
- ・事務員原川さん10月末で正式に退職。(退職金を支払う)
9月29日大臨技事務所にて退職式を行なった。
- ・事務の分担
会計、郵送関係 岩崎
公文書、会員管理、郵送関係 仲野
メールでの依頼等に関しては、すべてCCを付け運天副会長に送る。
事務所のメールのやり取りは各理事のみとする。

【 議題 】

1. 近畿学会について

- ◇ 学術部部長会議および合同企画会議案について
詳細は10月22日の福井での学術部会で検討後、最終決定される。
- ◇ 配布用チラシについて
今回は、自粛することになった。
- ◇ 学会趣意書、企画参加依頼について
 - ・同時開催とする。
 - ・学会名称は、“第48回近畿医学検査学会・第50回日本臨床医学会近畿支部総会”と記載。
 - ・学会事務所は「大臨技事務所内」とする。
 - ・振込用紙は、300枚用意、口座名「大臨技学会実行委員会」とする。
 - ・公文書の公印は、並べて押印。公印に関して両者相談の上、作成。
 - ・理事会にて、最終決定。
 - ・封筒は、新たに作成しチラシも同封。
- ◇ 備品について
学会印、封筒、学会参加者用領収印の作成(費用は臨床検査医学会側と折半)
- ◇ 今後の日程
学会実行委員会は11月開催より第1水曜日に変更。

◇ その他

- ・ 情報収集の窓口は、今井実行委員長とする（今井副会長）
- ・ 検査所協会の演題発表を第9会場に設定。
- ・ 臨床検査医学会総会との混同を避けるため「イブニングセミナー」を「機器セミナー」に名称変更。
- ・ 広報についてニュース発送時に学会案内チラシを同封。ニュースに学会コーナーを設け、11月号ニュース実行委員会名簿、12月号に挨拶、来年以降シンポジウムを中心とした各部門の紹介等を掲載、ホームページの立ち上げ予定。
- ・ 大阪主催の12月のシンポジウム合同会議の出席者把握のためリストの確認を要する。
（日臨技より会議用分担金支給される）

2. 上半期中間決算報告

11月の理事会にて来月の事業計画の相談

12月に予算案を出す（10%削減予定）

3. その他

- ・ 学術部会より一般検査事業追加予算について報告あり。
- ・ 大臨技ホームページ緊急インフォメーションシステムについて提案あり。
- ・ 平成18年度大臨技主催事業案（10月～1月）12月の理事会で提出する。
- ・ 健康展の今後のあり方について検討する。

・
・